

“わたしノート”を書いてみませんか？

安城市では、「本人が望む場所で自分らしく最期まで今を生きる」ことを目指しています。

誰にでも起こりうる「もしもの時」に備え、あなたの望む生き方について考える人生会議(※)を推進しています。今後の人生について「わたしノート」を使って考えてみませんか？

(※)もしもの時のために今後のケア等について周りと話し合う取組み。

詳細は本紙令和3年11月号参照。

わたしノートって何？

自分らしく豊かに生きていくことができるように、自分のこれまでのこと、これからのこと、もしもの時についての想いを書き留めていくノートです。ノートを家族や友人等大切な人に見せ、話し合うことで自分の想いを伝えることができます。心身の状態に応じて想いや考えは変化するので何度でも書き直しできます。

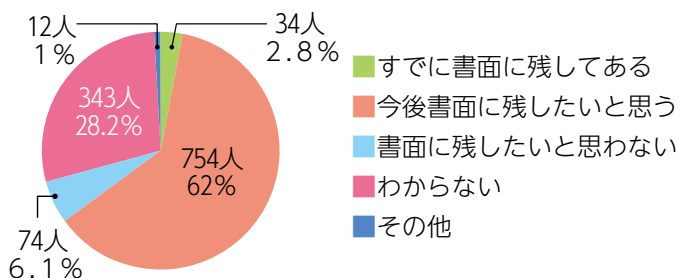
わたしノートは高齢福祉課、各福祉センター、各地区公民館、各地域包括支援センターで無料配布している他、市HP(右記QRコード参照)からダウンロードできます。



意思表示ができなくなった際の備えについての意識調査

令和2年度に行った市民アンケートの結果では、意思表示ができなくなった時のための備えについて、6割以上の人が「書面に残したい」と考えています。

高齢により、又は認知症で意思表示ができなくなった時、自分の価値観や希望する治療法等について



※令和2年度実施安城市eモニターアンケート(回答者数1217人)。

想いを込めて作りました～「わたしノート」を作成したACP作業部会の皆さん～

※ACP作業部会…人生会議を推進する医療・福祉・介護の専門職のワーキンググループ。

このノートは大切な人と一緒に書いていただきたいと思います。「何を大切に生きてきたのか」「これからどう生きていきたいか」を大切な人と共有し、最期を考えるだけでなく、今をどう生きたいのか前向きに楽しく考えてもらいたいです。

「その時になったら考える」では遅いです！縁起でもない話と敬遠することなく、勇気を出して人生会議を始めませんか？

あまり構えずに気軽に書いていただければと思います。気持ちが変わればいつでも書き直しできます。



現場では患者さんやご家族の思いが書かれたわたしノートを治療や今後の生活に活かしたいと思っています。一緒にこれからのことを考えていきましょう！